

2019

# 国語

## 注 意

1. 試験時間は、8:50～9:40の**50分**です。
2. 問題は ㊦ から ㊩ まであります。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

数日後の夕方、セイジがひそかに修を呼びに来た。

「庄ちゃんが①秘密の場所を教えるって」

修は夕食の仕度をしている良江に見つからないように家を脱け出した。

「どこさ、来いって？」

「平和館だ。庄ちゃんの話では映画もただで入れるようにしてくれるって」

修はセイジと肩を並べ、平和館に急いだ。

平和館はかつては田舎芝居だけでなく歌舞伎などもかかったことがある劇場だった。建物はかなり老朽化しているものの、昔風の頑丈な造りで、二階席はまだその名残りで棧敷になっていた。一階もかつては畳を敷いた座敷だったらしいが、いまは地面が剥き出しになった土間に、背もたれのない長椅子が並んでいた。

正面の舞台の上にスクリーンが吊つてある。客席に坐っていると、便所のクレゾール液や消毒液の強い刺戟臭と一緒に小便の臭いがいつも漂ってきた。そんな田舎の映画館だったが、修には天国のような場所だった。真っ暗闇の中、スクリーンに映し出される世界は、夢の別世界だ。

自転車置き場に待っていた庄は、修とセイジを手招きした。

「ほんとにただで映画を観れるのけ？」

彼はいま掛かっている西部劇のポスターを横目で眺めた。ポスターには、髭面のジョエル・マックリーが銃を構えていた。

「嘘をつかね。ともかく、おれにまかせておけ」

庄は胸を叩いて、ついて来いという仕草をした。修は a 信 a 疑だったが、庄があまり自信たっぷりなので、庄の後について行くことにした。

庄は平和館の脇の路地に足を進めた。平和館の裏に回ろうとしている様子だった。

「どこさ、行くんだ？ 庄ちゃん」

「入口はあっちだっぺさ」

修は不安になり、庄にきいた。庄は辺りを気にしはじめ「シート」といい、恐い顔を向けた。平和館の裏手は雑木林になっていた。

庄は辺りに人影がないのを確かめ、平和館の裏側に近付いた。そこにはベニヤ板造りの舞台装置のガラクタが立てかけてあった。庄はその板の隙間に身を滑らせるようにしてもぐりこんだ。板の間から庄のこもった声が聞えた。

「早く、来いよ。こつから入れんだ」

「どうすつぺ」セイジは② おどおどした顔を修に向けた。修は少し、ためらったが、勇を奮って隙間にもぐりこんだ。セイジも修の後に続いた。板の隙間は非常口の扉に続いていた。扉の羽目板が一枚はずれていて、子供一人がちょうどくぐれる程の穴になっていた。入るのをためらっていると、扉の向う側から、庄のせかす声がした。

修は後から押されるようにして、劇場の中に入った。そこはスクリーンの真後ろになっていた。庄はスクリーンの後ろに胡座をかいていた。庄は隅の方から木箱を取り出して、蓋を開けた。

いきなり、上映を告げるベルが鳴り響いた。修は一瞬、心臓が縮み上った。庄は白い歯を見せながら、箱の中を修に見せた。そこにはフィルムの切れっ端がびっしりと詰っていた。

ベルが止んだ。やがて劇場内は暗くなり、スクリーンにはモノクロの映画が映りはじめた。ニュース映画だった。修はフィルムの切片のスクリーンの明りに透かして眺めた。西部劇があり、戦争映画や時代劇があり、喜劇映画や恋愛映画などのフィルムもあった。修が感心して見ていると、庄は修に囁いた。

「さ、座席に移つぺ。ここは便所臭くてたまんねえべ」

異議はなかった。それにスクリーンを後ろから見ているので、字幕が読みにくかった。登場人物や風景が左右逆に見えるのも奇妙な感じだった。

映画館を出た時、修は現実に引き戻され、気が重くなった。辺りはすっかり夜の闇に包まれていた。二本立の映画だったので、夢中になつて観ているうちに、夜の九時を過ぎてしまつていた。家に帰れば、母や良江からこつぴどく叱られるのが目に見えていた。

庄もセイジもやはり押し黙つたまま、夜の道を急いだ。田圃の向うに旧南郷屋の新興住宅地の灯がちらついていた。

「おこられつぺな」セイジが情けない声でいった。

「やだなあ」修は良江の振るう太い腕を思い浮べた。

「平気、平気。親父に一、二発、ぶっ飛ばされれば、それで終いだんべ」

庄はかすれた声でいい、修の背中をどやしつけた。それから、またみんなは黙りこくりに夜道を歩いた。田圃のカエルが喧しく鳴きだしていった。修には、<sup>③</sup>それがみんなを嘲笑っているように聞えた。

セイジの家の近くに来た。セイジは息を詰め「じゃ」といって玄関の引き戸を開けて入った。たちまち、セイジの親父の怒鳴り声が聞えた。セイジの泣き声が上がった。

修は庄と顔を見合わせた。

「仕方なかんべな。オサムのところは大丈夫か？」

「分んね」修は首をすくめた。

家の前に来ると足がすくんだ。庄が修の肩をポンと叩いた。

「おれのせいにしていいぞ」

「そんなことしねえ」修はXかぶりを振った。

「へ、どうせ、おれのせいになつべき。おれは構わねんだ。だけど、平和館のおれの秘密だけは守れよ」

「うん、守る」修は手を挙げ、玄関の引き戸に手をかけた。息を呑み、戸をがらつと開けた。仔犬のレオがクウクウと鼻声をたてながら、足元にすり寄った。

「オサムっ。どこへ行ったたの」

居間に鬼のような形相の良江が正座していた。良江の後ろに、帰って来たばかりらしい母の姿があった。兄の勉は、うつ伏せになって本を読んでいた。

「<sup>④</sup>ま、いいじゃないの、良江ちゃん」

「親がそんな甘くては駄目じゃないの。ここはきちんと<sup>⑤</sup>悪いことは悪いと叱らなくては、オサムのためによくありません。ましてお父さんがいないんだから、ここはしっかり叱っておかねば」

母は着替えをはじめていた。顔が赤かった。酒を呑んで帰って来たんだ、と修は思った。良江の顔が近付いた。修は口籠った。

「——映画を観に行ってたんだ」

「誰と？」

「庄ちゃんと」

「あの不良と遊んでいたのね。いま何時だと思っているの？」

良江は修がどうやって映画館に入る金を持っていたのかをしつこく問いつめた。修ははじめ貯めた小遣いで入ったと嘘をついていたが、良江が涙ながらに問いつめてくるので、とうとう裏手の壊れた扉から入ったことを白状してしまった。

「あの不良が何てことにうちのオサムを誘いこもうというの」

⑥ 良江は激しくいきり立った。修はいまにも庄の家に押しかけようとする勢いの良江を抑えるために、大声で泣き出した。良江はひとりきり、庄の悪口をまくしたてた。修が帰って来なかったのも、どんなに良江たちが心配して探し回ったか、悪いやつにかどわかされたのではないかと、事故に遇ったのではないかと、どんなに気を揉んだかを切々と話して聞かされた。

良江は終いには両目に涙を溢れさせると声をつまらせてしまった。良江は修を力一杯、抱き締めた。良江の躰からほんのりと化粧の匂いがした。横目で母の方を見ると、ホロ酔い加減の母は困った顔で良江と修の様子を眺めていた。勉は寝ころんだまま、仏頂面で本を読みふけていた。

修はなぜ母が叱ってくれないのだろうと思った。⑦ そのことの方が修には悲しかった。

「あんな不良なんかとつき合ってはだめよ。いいわね」

良江は修に何度も念を押しした。⑧ 修は心の中で庄に「ごめんね」と呟いた。

(森詠『オサムの朝』による)

(注1) 庄ちゃん：修やセイジより三つ年上の中学一年生。近所の農家の子。

(注2) 良江：年上のいとこ。経済的に苦しくなった修の家では、母が働くようになり、良江が家事や修たちの面倒を見るようになってきている。

問一 空欄 a に入る一字の漢字を答えなさい。

問二 波線部 X・Y の意味としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

X かぶりを振った

- ア 肩を揺らして脅した  
イ 頭を左右に振って否定した  
ウ 相手をつかんで揺さぶった  
エ 帽子を脱いで承知した  
オ 指を左右に振って制した

Y 仏頂面

- ア 穏やかにすました表情  
イ 無表情で不気味な顔  
ウ 慈愛にみちた優しい表情  
エ 無愛想なふくれっつら  
オ 険しいしかめっつら

問三 傍線部①「秘密の場所」とありますが、どこですか。またなぜ「秘密」にしているのか説明しなさい。

問四 傍線部②「おどおどした顔」とありますが、このときのセイジの気持ちを述べたものとしてもっとも適当なものを次の中から選んで、

記号で答えなさい。

- ア 具体的な説明もなく、違法な行為をしている庄と行動を共にすることで、それに加わることに引け目を感じている。  
イ ただで映画を観る方法が、まっとうなものではないことに気づいて憤慨しつつも、敵対もできず諦めてしまっている。  
ウ ちゃんと説明せず、どんどん自分勝手に進んでいく庄に反感を覚え、修の気持ちを確認してともに抵抗しようと思っている。  
エ 老朽化した映画館のくたびれた建物のなかに入ること身の危険を感じ、なんとか安全な入り口はないものかと動揺している。  
オ 今まで体験したことがない未知の出来事を前にして、胸が高鳴り、これから体験することを想像して胸を躍らせている。

問五 傍線部③「それがみんなを嘲笑っているように聞えた」とありますが、このときの修の心情の説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 夢のような楽しい映画の世界に引き戻すようにカエルの声が笑っているように聞こえ、名残り惜しく感じている。
- イ 庄がどやしつけて励ましたようにカエルの声もほがらかに笑っているように聞こえ、勇気づけられたように感じている。
- ウ 自分たちの行為の愚かしさをカエルが笑っているように聞こえ、これからの出来事を想像し情けなく思っている。
- エ カエルの鳴り響いている声に、帰り道をいそぎながらその鳴き声にせかされているように思い絶望を感じている。
- オ 夜の田舎道を怖がりながら急ぐ三人を、カエルの鳴き声がかかっているかのように聞こえいらしている。

問六 傍線部④「ま、いいじゃないの、良江ちゃん」とありますが、母が修をきつく怒ることができない理由として考えられることを、本文をよく読んで答えなさい。

問七 傍線部⑤「悪いこと」とありますが、その内容を二十五字以内で答えなさい。

問八 傍線部⑥「良江は激しくいきり立った」とありますが、その理由を簡潔に答えなさい。

問九 傍線部⑦「そのことの方が修には悲しかった」とありますが、その説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 母が叱らないことが、完全に子育てを良江にゆだねてしまったことを物語っており両親と離れる喪失感を感じている。
- イ 母が叱らないことが、いつのまにか一人前として認められていることを物語りもう母に甘えられない寂しさを実感している。
- ウ 母が叱らないことが、母と良江の対立を鮮明にしまい、家庭内の問題を作り上げてしまった自分に罪悪感を覚えている。
- エ 母が叱らないことが、なんだか親子間に今まで感じたことのない微妙な距離ができたことを感じて違和感を覚えている。
- オ 母が叱らないことが、その酔いの深さを物語っており、それほどまでに酒を呑む母に微妙な嫌悪感を抱くようになっていく。

問十 傍線部⑧ 「修は心の中で庄に『ごめんね』と呟いた」とありますが、何に対して謝っているのか二点答えなさい。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合上、本文を省略している部分があります。

ここでひとつ、質問です。もし顔を変えることができるとしたら、どんな顔になりたいですか。アイドルのようなかわいい顔、

1 もっと大人っぽい顔になりたいですか。

観察してみると、顔の魅力にはさまざまなタイプがあることがわかります。① ときに女性雑誌に理想的だといわれる顔もありますが、それでも完璧な顔とはいえないかもしれません。それぞれの顔には長所と短所が必ずあるといえるのです。そしてたいの魅力的な顔には、好き嫌いがありません。完璧な顔があるとしたら、誰もがノーと言わない、整った顔になるでしょう。

2

② この種の顔が完璧か

というと、芸能人には向かないのです。

売れている芸能人の顔を思い起こしてみましよう。それぞれ、どこかに特徴を持っているのではないのでしょうか。完璧で整った、平均したような顔は、引っかけがなくて記憶に残らないのです。このような顔は、たくさんの人たちであふれていて、自分を覚えてもらうことが何よりも優先される芸能界では、なかなか生き残れないことでしょう。どこかに引っかけがあり記憶に残りやすい顔の方が、芸能界では有利なのです。

芸能界の例は極端にも思えますが、ふだんの生活の中でも、この種の話は起きているのではないのでしょうか。あなた自身の個性のようにな引っかけがないと、周りに自分を覚えてもらいにくいのかもかもしれません。

さてもうひとつの質問です。この世に完璧な顔が存在しないとしても、それでも、③ あなたが変わりたい顔になれたなら、あなたはあなたのままでいられるでしょうか。顔は心から切り離され、お面のように交換できるものなのでしょうか。

ある顔になったとしたら、その顔らしいことが望まれて、その顔らしく振る舞わなければならない。そういう固定観念がありはしないでしょうか。そうであれば、よい顔をもてば、よい人生を送ることができるのでしょうか。美人や美男子は、得をしているのでしょうか。

社会心理学の研究では、美人や美男子は「いい人」という先入観に苦しめられていることがわかっています。

3 よいこと

をしていても当たり前と見られ、逆に少しでも悪いことをすると、ものすごく悪くみられてしまう。他人と同じようなことをしても、自身

の評価は低くなるというのです。

顔や風貌は、誰もが思い悩むところがあるのです。特に思春期に強く悩むのは、思春期特有の心と身体の変化にあるのかもしれませんが。心身の急激な成長の中、自分探してもがく思春期は、ときに自分を見失うこともあります。

この時期の混乱は、親の側にもあるでしょう。はじめて目の前にする、子どもの急激な成長には、親の戸惑いも大きいのです。成長を受け入れることには、当事者と周囲とでは、隔たりがあります。当人が成長したと思っても、周囲はまだまだ子どもと思ってしまうのです。むしろ親の方が、受け入れに時間がかかるのです。

周囲と自分の成長とのギャップは苦しいものです。自分の風貌を変えようと思ったとき、顔よりも手っ取り早く変えられるのが、体重です。スタイルづくりのためのダイエットに走る女性が多いです。モデルのような体形になってきれいになりたいという願望は普遍的で、小学生向けのファッション誌ができてから、この願望も低年齢化しています。また一方で、大人になりたくない、成熟したくない願望が極端となって、ふくよかな女性らしい身体を拒んで食を拒絶することもあります。

もちろん、自分を知った上でのダイエットであれば、なんの問題ありません。しかし中には、自分の状態がわからなくなり、異常なほどの体重制限を課してしまうこともあります。極端にやせた手や足、たったの三〇キロの体重を理想と思ひこみ、ガリガリにやせ細っていく。病院で人工的な栄養補給をしないと助からないほどの状態になる場合もあります。「思春期やせ症」と呼ばれるこの病は、歯止めが利かず、死の危険すらあります。

そんな少女たちを対象に、自分と他者の顔を見ているときの脳活動を計測したことがあります。実験の結果、一般的には自己の顔への脳活動は  x  ても他者の顔への活動は  y  のに、こうした少女たちの場合は他者の顔への活動も  z  ことがわかりました。周囲への関心の高さが見受けられるようです。

④ 思春期の急激な成長の中で、自分に対する見方がゆがんでしまうということは、実はよくあることなのかもしれません。では、⑤ ⑤ ⑤ に注意すべきなのでしょうか。

それにはまず、自分で見ることでできない自分の姿を、なるべく  B  客観的に知ろうとする努力が必要でしょう。そのためには、社会の中にいることが大切です。それは学校でなくても、友達やコミュニティー、なんでもかまいません。自分の顔は、他人の目を通してしか見えないのですから、他人との関係が必須なのです。他者とのコミュニケーションを通じて自分の顔を知り、心にあった顔になるためには、社会の中に生き、よりよい人間関係を築く努力をすることが必要なのです。

(注) 普遍的…あらゆるものにあてはまるような

(山口真美『自分の顔が好きですか?』による)

問一 二重傍線部A・Bの語句の意味としてもっとも適当なものを次の中から選んで、それぞれ記号で答えなさい。

A 先入観

- ア 科学的な根拠なくその人が勝手に作った妄想
- イ 生まれながらに人間に備わっている思考法
- ウ 社会の中でいつの間にか成立した差別的な偏見
- エ あらかじめ出来上がっている固定的な考え
- オ 絶対に守らなければならない暗黙のルール

B 客観的に

- ア 他人事のように考えないで、自分の問題としてしっかりと考える態度で
- イ 自分の考えにとらわれないで、誰がみてもその通りだと思っような立場で
- ウ 分かったふりをしないで、分からないことを突き詰めて学んでいく姿勢で
- エ 一人で無理をしないで、他の人と協力し、たがいに支え合うような意識で
- オ 大雑把にならないで、細かいところまでねばりよく探求していく覚悟で

問二 空欄1～3に入る語としてもっとも適当なものを次の中から選んで、それぞれ記号で答えなさい。

- ア しかし
- イ つまり
- ウ さらに
- エ そのため
- オ あるいは

問三 傍線部①「ときに女性雑誌に、くかもしれませんが、そう言えるのはなぜですか。その説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 世界は広いので、さらに徹底的に調査をすればより理想的な顔に出会えるかもしれないから。
- イ 長所だけを備えている顔など世の中に存在しないので、かえって気味悪く思われてしまうから。
- ウ 人の好みは人それぞれなので、多くの人を惹きつける顔でもその顔を好まない人もいるから。
- エ 美意識は男女差が大きいので、女性雑誌と男性雑誌とは求める理想の顔がかけ離れているから。
- オ 雑誌に掲載されるのは特別な人なので、一般の人と比較することにはさほどの意味がないから。

問四 傍線部②「この種の顔が完璧かという点、芸能人には向かないのです」とありますが、そう言えるのはなぜですか。「この種の顔」の中身をはっきりさせながら六十字以内で答えなさい。

問五 傍線部③「あなたが変わりたい顔になれたなら、あなたはあなたのままでいられるでしょうか」とありますが、この点に関して筆者はどのように考えていますか。筆者がそのように考える理由も入れて六十字以内で簡潔に説明しなさい。

問六 傍線部④「思春期の急激な成長の中で、くかもしれませんが、これとほぼ同じ内容を述べた一文を探し、はじめの五字を抜き出さない。

問七 空欄 x、y、z に入る語の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- |   |         |         |         |   |         |         |         |
|---|---------|---------|---------|---|---------|---------|---------|
| ア | x …… 高く | y …… 高い | z …… 低い | イ | x …… 低く | y …… 低い | z …… 高い |
| ウ | x …… 高く | y …… 低い | z …… 高い | エ | x …… 低く | y …… 高い | z …… 低い |
| オ | x …… 高く | y …… 低い | z …… 低い |   |         |         |         |

問八 傍線部⑤「なにに注意すべきなのか」とありますが、筆者はどのようなことに注意すべきだと考えていますか。その説明としても適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア ダイエットについての科学的で正確な知識を身につけ、無理なダイエットをして危険な状況に陥らないこと。  
イ 周りの人に流されず、しっかりと自分の信念を持ち続ける努力をして、自分を見失ってしまわないこと。  
ウ ささまざまなコミュニケーションに積極的に関わっていくことで、自らのコミュニケーション能力を下げないこと。  
エ 日頃から自分の内面を一生懸命磨くように努め、他人のことを顔や風貌といった外見だけで判断しないこと。  
オ 他の人との交流の中で自分のことを客観的に捉えるようにして、自らの思い込みに振り回され過ぎないこと。

問九 本文の内容に合致するものにはAを、合致しないものにはBを記しなさい。ただし、すべて同じ記号にした場合は採点の対象としません。

- ア たとえ整った顔であったとしても、その人らしさや特徴のない顔では、なかなか人に覚えてもらえないものである。  
イ 美人や美男子はよいことをすると普通の人以上に好感を持たれるが、悪いことをすると必要以上に悪く思われる。  
ウ 思春期に顔や風貌について悩むことの主な原因は、親が自分の成長を受け入れてくれないことにあることが多い。  
エ 社会の中に生き、よりよい人間関係を築くことは、結果として「思春期やせ症」などを予防することにもつながる。

三 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① 高尾駅までのウンチンを支払う。  
② ダサ<sup>1</sup>的なふるまいが周囲の反感を買った。  
③ ネット<sup>2</sup>アイに咲く花を温室で育てる。  
④ ギョウセキ<sup>3</sup>悪化に苦しむ企業。  
⑤ 木の枝が才<sup>4</sup>れた。

[問題はここまでです。]





